

広域振興局長

提出者 日本通運株式会社Eastカンパニーロジスティクス第二部
 住所 〒020-0857 盛岡市北飯岡一丁目10番32号
 氏名 部長 村井 武浩

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策（変更）計画書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第82条第1項（第82条第2項）の規定により、次のとおり提出します。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	日本通運株式会社Eastカンパニーロジスティクス第二部	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市北飯岡一丁目10番32号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量		*施設番号	
自動車の使用台数	125 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のどおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置			
その他の地球温暖化の対策に関する事項			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		k0
		k0
		k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に、記載してください。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載してください。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

別紙 その2

1 二酸化炭素の排出の抑制のための措置

(1) 二酸化炭素の排出を抑制するための取組 (計画)

【目標値】

- ・二酸化炭素排出量を2025年度を基準として3年間で10%削減する

【具体的な取組】

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- ・環境に配慮した車両の導入(クリーンディーゼル車、ハイブリット車等の導入)

○自動車利用抑制

- ・モーダルシフトノ推進(トラックから環境負荷の少ない鉄道や船での輸送に転換する)

○輸送の合理化

- ・共同輸送、共同配送(同一カテゴリーの商品を同じトラックなどに積載して輸送する)

備考 主に次のことを記載してください。

- ・省エネルギー対策として、低暖房の適切な温度管理、製造工程における熱効率の向上、省エネ設備の導入等
- ・再生可能エネルギーの導入、再生可能エネルギー由来電力の調達
- ・自動車利用の抑制に係る取組
- ・定期的な荷受け・荷出しがある事業所は、輸送方法の合理化に係る取組

(2) 計画実現のための具体的な方法

- ・定期的に従業員に対し環境に関する当社の取組み内容を周知し、意識向上につなげる

(3) 計画の達成度の把握方法

- ・社内のエネルギー管理システムを活用することで、燃料等の消費状況を把握し、効率的なエネルギー管理を行う

2 その他の地球温暖化の対策に関する事項

- ・ゴミの出ない環境にやさしい引越商品の販売促進(反復資材の活用)
- ・エコ商品の積極的な活用による廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ・梱包資材再資源化の3R推進

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (2024年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出	
	保有台数	燃料使用量	排出係数 (B)	排出量
ガソリン	21 (5)	31,033 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	71,070 kg-CO ₂
軽油	104 ()	1,469,145 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	3,848,376 kg-CO ₂
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂
合計	125 (5)			3,919,446 kg-CO ₂

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 二酸化炭素の排出の抑制のための措置

<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量を2024年度を基準として3年間で10%削減する <p>【具体的な取組】</p> <p>○エコドライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無駄なアイドリング、急発進、急加速、急停車を抑制する <p>○輸送の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同輸送、共同配送 (同一カテゴリーの商品を同じトラックなどに積載して輸送する) <p>○電動車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮したハイブリット車等の導入 <p>○自動車利用抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モーダルシフトノ推進 (トラックから環境負荷の少ない鉄道や船での輸送に転換する)
--

備考 主に次のことを記載してください。

- ・エコドライブの取組 (駐車時のエンジン停止、急発進や急加速の抑制等)
- ・輸送方法の合理化に関する取組
- ・電動車 (ハイブリッド自動車、電気自動車等) の導入
- ・輸送業務以外での自動車利用の抑制に係る取組

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器の導入や運用の工夫によるエネルギー消費量の削減 ・廃棄物の分別・リサイクルの活用および発生抑制
--